

フィリップ モリス ジャパン合同会社 熊本地震の被災地を支えるプログラムを決定

フィリップ モリス ジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、社長：ポール・ライリー、以下 PMJ）は、2016年4月21日付で、このたびの熊本県を中心とする地域で発生した地震による被災者および被災地の支援ならびに救援を目的として、総額 5,000 万円の支援金拠出を決定しております。加えて、熊本地震の被害支援として社内募金を実施した上で、社内募金額に企業として 1 対 1 のマッチングを行いました。

その結果、PMJ の支援金総額は、従業員からの募金 276.5 万円に PMJ が同額をマッチングした 553 万円の追加分を含め、5,553 万円となりました。

PMJ はこのたび、上記支援金の拠出先および支援プログラムを決定したので、お知らせいたします。

支援プログラムと寄付先概要：

中学生・高校生へのキャリアサポートプロジェクト：3,000 万円

熊本県上益城郡益城町の中学生・高校生への学習サポートとキャリア教育を公益財団法人日本財団（東京）の協力のもとに、放課後に専門スタッフが行います。また、東日本大震災を経験した中学生・高校生との交流プログラムを通じ、熊本の今後を考え、復興を担う人材の育成を目指します。

子どもと女性に「安心・自信・自由」を届けるプロジェクト：553 万円

子ども達の心の応急手当をし、心的外傷後ストレス障害（PTSD）の予防を目的としたミニ講座を熊本地区の保育園、幼稚園、各種学校、児童養護施設等で NPO 法人 CAP センター・ジャパン（兵庫）の協力のもとに、実施します。また、子育て中の女性や子ども向けの電話相談を開設し、様々な年代の被災者に専門女性相談員が寄り添い、被災地の今後を支えます。

被災地への義援金：2,000 万円

被害を受けた方々の実情とニーズに合わせて、義援金を社会福祉法人中央共同募金会（東京）経由でお届けします。

被災された方々に謹んでお見舞い申し上げるとともに、PMJ は今後も復興に向けた中長期的な支援を継続してまいります。

フィリップ モリス ジャパン合同会社 <http://www.pmjl.jp>

フィリップ モリス ジャパン合同会社は、フィリップ モリス インターナショナルの日本における子会社で、日本で販売されるフィリップ モリス社製たばこ製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。2015年の日本におけるマーケットシェアは25.3%でした。

－ 参考 －

PMJ 従業員によるボランティア活動を以下の日程で、支援プログラムによる被災地のサポートに加え、実施します。

活動日時:	2016年10月14日(金) 11:30頃～17:00頃 2016年10月15日(土) 10:00頃～13:30頃
活動場所:	熊本県上益城郡益城町木山236 益城町立第五保育所
参加者:	PMJ 従業員およびNPO プレイグラウンド・オブ・ホープ 約20名
内容:	1日目:仮設保育所の園庭に遊具を設置 2日目:地元の方々をご招待し、オープニングセレモニーとバーベキューを実施